

～会員の皆様へ～

○ 六甲山自然案内人の会 ○

< 4月定例自然観察会 結果報告書 >

実施年月日(時間)	平成20年 4月13日(日) 9:00～15:00 天候 : 薄日さず花曇り
観察コース	JR武田尾駅(集合)～ 桜の園(亦楽山荘=桜の演習林)～ 旧福知山線 廃線路(途中トンネルあり)～ JR西宮名塩駅(解散)
世話人構成	1班メンバー 当日/青木孝子・秋田弘・石田克郎・石村貞雄・伊藤益義・ 井上悟・太田三和・大平浩子 (敬称略) 下見の時には、赤木さん、市毛さんも参加 観察指導、道路誘導など、他の会員の方々にもお手伝い頂きました。
観察のテーマ & ポイント	・ 桜の園(現在、宝塚市の里山公園)では、山桜の古木のある山荘めぐり ルートの自然観察&解説 ・ 兵庫県自然景観Bランク、岩上植物群落貴重性Aランク 等に位置づけ られている武庫川渓谷を、体感! ～植物・地形・地質・景観・歴史・ダム問題など、いろいろな角度から名解説を エコグループ武庫川代表でもある伊藤益義氏がして下さいました。～
参加者総数	会員 23名 ・ 一般参加者 30名 〔合計 53名(午前中のみ参加:3名)〕
観察結果	別紙 にて 報告
感想 & 気づいた点	○ 天気予報の傘マークが気がかりでしたが、汗ばむ位の陽気で、終了まで 雨にもならず、多人数でしたが、時間も予定通りに運びました。 ○ 今回は、桜が見ごろで新緑と武庫川渓谷との景観が美しく、桜の勉強を 兼ねたお花見気分も味わえました!? ○ 集合場所の案内に、会の名前のプラカード(青木さん作成)を掲げました。 ○ 桜の園のルート内の分かれ道で、参加者が迷わない様に、分岐点で 会のプラカードを持った道案内人を配しました。 ● 当初マイクの使用を考えておらず、当日参加者より聞き取りにくいとの 要望で、急遽マイクをセッティングしたが、電池のセットがうまくいかず 音が出なかった。前もって、マイクのテストをしておくべきでした。反省～! ● 参加者が多いと列が長くなり、伊藤さんの解説時に集まってもらうのに 時間がかかることが度々あった。 ☆ 今回のコースは、他のグループ等、多くの人出が予想された為、スタッフ が、参加者からみて分かり易い様、帽子に名札をつけましたが、会で 担当者用に、お揃いの帽子を揃えたらどうか、という意見もありました。 ☆ 次回このコースを考える場合、レッドデータのサツキの花咲く5月も (うまく開花時期と合うとは限らないが)良いのではないかと思います。

～武庫川溪谷の自然を訪ねて '08.4.13(日)～

♪コース：9時JR武田尾駅 集合～桜の園～旧福知山線廃線路(途中トンネル通過)～15時JR名塩駅 解散♪

……薄日さす花曇りのお天気で、心配した雨も最後まで持ちこたえましたね！ 少し汗ばむくらいの陽気の中、エコネット武庫川代表・伊藤益義氏の植物・地理・地学・景観・歴史・ダム問題などの名解説とともに、自然観察会が、行われました。桜の花も見頃♪新緑の中、出初めの若葉が、まるで花のようにも見えました……

<ドングリ(コナラ)の発芽に遭遇！

お豆じゃないよ↓堅い殻を脱いで、栄養たっぷりの子葉

↓<シュンラン>

<桜の園にて…泥岩が特徴の川>



【桜の園＝亦楽山荘(エキラクサンソウ)】

笹部新太郎氏が明治45年から、サクラの品種保存や研究のために使用した演習林。中国の詩人、蘇東坡の漢詩の中の「此間亦有楽」よりとって、亦楽山荘と名づけられた。(＊笹部氏は水上勉著「桜守」の中の登場人物のモデル) 現在は、宝塚市の里山公園として親しまれ、残った1千本のサクラに加え、ボランティアの方々により1千本が植樹されている。四季折々の美しさがある。



……ハートの若々しい葉を枝に並んでつけているのは、カツラの木。雌雄異株のアオキが、星型の赤い雌花・雄花をつけ、ヤマザクラの柔らかな赤っぽい若葉と同時に咲く花が周りの新緑に映えます。桜の品種は数々あれど、これが日本の国花。

<兵庫県ふるさと桜堤回廊(日本海と瀬戸内海を桜並木でつなぐ構想)は、ここで繋がったんですね>

サクラは明るい場所を好み、湿った場所は苦手なので、谷筋に笹部氏はモミジを植えたとか。。。地面では、ドングリの発芽・スミレやキケマンや春爛が花盛り。育樹の丘で拾ったムクロジの実のオレンジ色の皮はサポニンを含み、持参した少量の水を加えてこするとヌルヌル泡立つのが、面白かったですね。昔は、シャボンと呼んで、石けんとして使っていたそうです。中から出てきた硬く黒い実は、はねつきの球に用いられたとか。板に打ちつけるとはずみました！……



←笹部桜/カスミザクラとオオシマザクラ系との交配種。花弁数は5～8枚。大型の旗弁が3～5枚つく。元は、笹部邸の庭に実生で生えた桜。



……全国でも珍しい武庫川溪谷……

全長65kmの武庫川の勾配が最も急なのは、武田尾と生瀬の間。つまり、上流より中流の方が激流になっている。自然な川の姿、瀬・淵・滝・奇岩、川の蛇行によって形成される生態系などが、ハイキングで身近に見ることができる。



兵庫県版レッドデータブック2003 より。
* 武庫川溪谷の岩上植物群落を貴重性Aランク
* 溪谷を「先行河川」「貫入蛇行」の地形面でBランク
* 溪谷内4kmを、地質面から有馬層群中部玉瀬結晶質凝灰岩、長尾山流紋岩溶岩岩石の河食としてCランク
* また、V字谷溪谷、溪谷沿いのハイキングコースの自然景観の見地から、Bランク



← ツメレンゲ(Cランク)日当たりのよい岩場に生える一回開花(花が咲くと枯れる)植物。クロツバメシジミ(Cランク)の食草。他、貴重種にサツキ(Aランク)、ヨコグラノキ(Bランク)など。この日、カワセミの姿をご覧になった方もおられました。運が良ければ、ヤマセミの勇姿も見ることができるそうです。

◎ ハイキング途中、過去の大洪水の爪跡を見つつ、60万年程前から歴史を刻んできたこの生態系を、一瞬にしてダム底に沈めていいものかどうか、その是非を更に考えてみるのに、色々な季節に再び訪れてみたい場所でした。

* 案内：1班。 写真提供：青木・太田・大平 * 文責：大平 『報告書がおくれたこと、お詫び致します。』